

	社会の変化・変化への対応		JFEグループに対する ステークホルダーの 期待と懸念	評価結果
<b>2℃シナリオ</b> 重要な要因① 鉄鋼プロセスの 脱炭素化	鉄鋼プロセスに対する社会的な脱炭素要求の高まり	大規模な脱炭素を実現する革新技術の導入 カarbonプライスの導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 革新技術で大きく貢献</li> <li>● 革新技術導入のための投資負担の増加</li> <li>● Carbonプライス導入による操業コスト増加</li> </ul>	<b>[機会]</b> 既存技術に加えて革新技術を開発・実装  <b>[リスク]</b> 革新技術導入の投資負担は可能 Carbonプライスは世界共通で導入されコスト競争力は維持
<b>2℃シナリオ</b> 重要な要因② 鉄スクラップ 有効利用ニーズの高まり	炭素排出量が小さい電炉法への注目の高まり	電炉鋼の期待の高まり スクラップ発生量の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電炉鋼による転炉鋼の代替</li> <li>● JFEグループにおける電炉鋼生産の拡大</li> </ul>	<b>[機会]</b> スクラップ供給量に制約があり、転炉鋼生産は増加 電炉鋼生産、電炉エンジニアリングの拡大 スクラップ物流ビジネスが拡大
<b>2℃シナリオ</b> 重要な要因③ 自動車向け等の 鋼材需要の変化	自動車に求める需要の変化 素材への環境性能要求の高まり	EVモーター増加 内燃機関減少 軽量化でマルチマテリアル化 脱炭素・リサイクル性要求	<ul style="list-style-type: none"> <li>● EVモーター用の電磁鋼板需要が増加</li> <li>● 内燃機関の減少で特殊鋼需要が減少</li> <li>● マルチマテリアル化による自動車向け鋼材の代替</li> <li>● 鋼材へのさらなる脱炭素・リサイクル性要求</li> </ul>	<b>[機会]</b> EV化で電磁鋼板の需要増加 自動車販売台数の増加で特殊鋼需要増加 自動車用高張力鋼板の需要増加 鋼材のリサイクル性に再注目  <b>[リスク]</b> マルチマテリアル化の影響は限定的
<b>2℃シナリオ</b> 重要な要因④ 脱炭素を 促進する ソリューション 需要の拡大	脱炭素社会への移行	移行を促進するソリューション需要の拡大 省エネ技術の海外展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 再生可能エネルギー発電プラント</li> <li>● 日本で開発・実用化した先端省エネ技術 (BAT) の、途上国などにおける低炭素ビジネス (エコソリューション)</li> </ul>	<b>[機会]</b> 再エネ (バイオマス、地熱、太陽光発電) プラントの一貫施工・運営 ごみ焼却炉、プラスチックリサイクルプラントの一貫施工・運営 CCU・CCS設備の一貫施工 低炭素ビジネスの海外展開
<b>4℃シナリオ</b> 重要な要因⑤ 気象災害多発による 原料調達 不安定化	気温上昇に伴う気象災害の激甚化	原料調達の不安定化	● 原料調達の不安定化	<b>[リスク]</b> 具体的対策を推進中 [代替調達・ソース分散]
<b>4℃シナリオ</b> 重要な要因⑥ 気象災害による 拠点損害	気温上昇に伴う気象災害の激甚化		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 台風や大雨による被害増加</li> <li>● 洪水被害増加</li> <li>● 海面上昇による浸水被害発生</li> </ul>	<b>[リスク]</b> 洪水・浸水対策などは既に実施中 海面上昇による浸水影響は対応可能レベル
<b>4℃シナリオ</b> 重要な要因⑦ 国土強靱化	気温上昇に伴う気象災害の激甚化	インフラ強化の重要性増大 災害対策製品の需要増加	● インフラ強化に資する鋼材・関連製品で貢献	<b>[機会]</b> 鋼材・関連製品でインフラ強化